

実施日：2017年1月30日(月) 12:30～14:30



会場では会員40名と関係者27名が参加して例会及、贈呈式、交流会が、開催された。

プロジェクトの概要

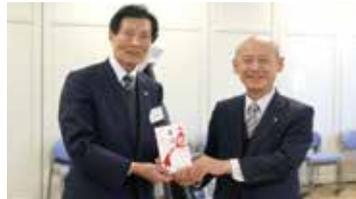
社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会（以下「育成会」という）の施設を利用する知的障害者の健康維持と、促進のために「育成会知的障害者支援施設いくせい」に健康維持器具一式を寄贈した。

訪問先

広島市西区打越町 17-27
社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会知的障害者支援施設いくせい
例会 12:30～ 昼食(100万ドル食事)
贈呈式 13:05～13:25
目録及び健康維持器具一式（エアロバイク3台 クロストレーナー1台）

参加者

広島中央ロータリークラブ 40名
広島市健康福祉局 2名
広島市手をつなぐ育成会 25名
(施設利用者を含む)



黒瀬会長から山本会長へ目録の贈呈

プロジェクト実施後の効果予測

本事業による健康回復訓練や健康維持運動を通して障害者の健康維持や、特に雨の日や寒い季節での運動不足の解消が期待でき、地域や障害者同士の交流の場となる。
今回は障害者とのふれあいや、トレーニングへの見学を通して交流を深め、会員の知的障害者への理解も深めることができた。
この健康維持器具は、この施設入所者及び通所者や、近隣の訪問者が利用することで、障がい者と地域の方々との交流も期待できる。

当日のプログラム

職員・施設利用者との交流会 13:15～14:30



2017.1.31 (火)中国新聞朝刊に掲載された記事



健康維持器具



例会、贈呈式の参加者



会長時間：黒瀬会長



来賓挨拶：広島市健康福祉局 福岡部長



広島市手をつなぐ育成会：山本会長（広島東RC）



倉施設長より
施設の説明と、健康維持器具の必要性について説明を受ける



利用者に使い心地を聞く西井委員長



モニターをのぞき込む前原理事



利用者に使い心地を聞く西井委員長